（請負代金・役務提供型売掛）

請 求 の 趣 旨【□前記記載のとおり】

1　被告【□ら】は、原告　　に対し、【□連帯して】次の金額を支払え。
【□（ただし、被告＿＿＿＿＿＿については、＿＿＿＿＿＿円の限度）】
(1)　金　６０３，０００　円
☑(2)　(1)の金額【□のうち金＿＿＿＿＿＿＿＿円】に対する〔□＿＿　＿＿年＿＿月＿＿日
☑本訴状送達の日の翌日〕から支払済みまで年　●　パーセントの割合による金員
2　訴訟費用は被告【□ら】の負担とする。
との判決【☑及び仮執行宣言】を求める。

請 求 の 原 因（紛争の要点）

1　原告　は、【☑　内装請負　業を営む者であり】、被告　　と、令和　４年　４　月　１　日、以下の内容で契約を締結し【☑以降、継続的に仕事（業務）を行っ】た。
(1)　仕事または業務（以下、「仕事等」という。）の内容
被告　　から依頼（委託）された仕事等を〔☑完成（完了）させる　□行う〕旨の契約で、その具体的内容は、以下のとおりである。
〔　キッチンまわり及び風呂・トイレ関係の内装工事　〕
(2)　契約代金
〔□【□総額　□月額】＿＿＿＿＿＿＿円　□別紙のとおり　☑各工事完成後　その都度決める〕
(3)　支払期日
〔□＿＿　＿＿年＿＿月＿＿日　　□定めなし　　□別紙のとおり
☑毎月　末　日締切（☑翌　□当）月　末　日支払　　□〕

【□(4)　連帯保証人　　被告＿＿＿＿＿＿
＿＿　＿＿年＿＿月＿＿日付け保証を証する書面又は電磁的記録あり
（□極度額＿＿＿＿＿＿＿円）　　】

2　原告　は、上記１(1)の仕事等を、令和４年　４　月　２５日【☑から令和　４年　８　月　８　日までの間】に〔☑完成（完了）させ【□完成物を引き渡し】た　□行った〕。
その代金は、【☑総額】１，２５５，０００円である（☑詳細は別紙のとおり）。

3　上記２の代金について、原告　に支払われた金額は、〔□ない　☑次のとおりである〕。
☑令和４年　６　月　１０日【□から＿＿　＿＿年＿＿月＿＿日までに】６５２，０００円